

第 31 回 全国中学校バスケットボール大会

～青い海 輝く 島根で君は神話になる～

【試合結果】

NO.73

男子 決勝トーナメント			
(準々決勝)			
日時	平成 13 年 8 月 19 日 (日) 16:35～		
会場	松江市総合体育館 Bコート 第6試合		
結果	飛幡中 (福岡)	85	56 五城目第一中 (秋田)
主審	中村元史	副審	伊藤裕一

【個人トータル表】

番号	氏名	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	山下 素弘	27	3	8	2	1
5	廣政 秀太	0	0	0	0	0
6	立花 大介	12	2	2	2	2
7	山本 優	12	0	4	4	1
8	花田 祐宣	2	0	1	0	0
9	山本 守	15	3	3	0	1
10	内田 哲広					
11	河本 直也	0	0	0	0	1
12	高藤 久大					
13	灘 吉賢人	4	0	2	0	1
14	木下 寛隆	13	0	6	1	2
15	徳部 勝也					
16	安田 大祐					
17	中村 智也					
18	和田 俊一郎					
合計		85	8	26	9	9

番号	氏名	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	宮城 徹	11	2	2	1	1
5	久保市 尚平	6	0	3	0	2
6	畠山 恒平					
7	鈴木 俊					
8	門間 武蔵					
9	草皆 智博	0	0	0	0	1
10	小松 優太					
11	畑澤 政教					
12	宮城 英洋	11	3	1	0	2
13	草皆 憲幸	12	0	6	0	5
14	伊藤 史也	16	0	7	2	0
15	石井 郁也					
16	伊藤 慧悟					
17	越 高庸平					
18	千種 聖矢					
合計		56	5	19	3	11

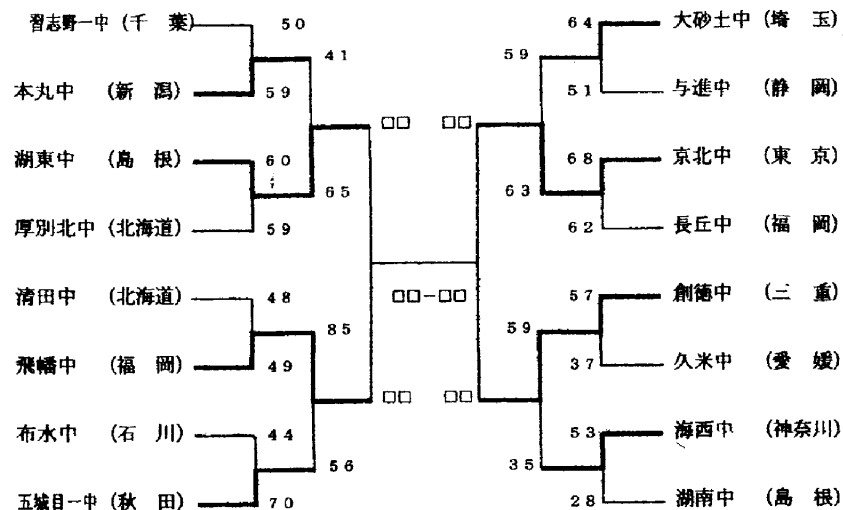
【戦評】

NO.73

準々決勝、飛幡(福岡)と五城目第一(秋田)の対戦。飛幡中は、決勝トーナメント1回戦の清田中戦を大接戦で勝ち上がり、このゲームを迎えた。
 飛幡マンツーマン、五城目第一ゾーンプレスでスタート。お互いに相手の出方を何う立ち上がりとなった。序盤の5分を制したのは、飛幡。ディフェンスリバウンドを制し、速攻についで10-2とした。対する五城目は③草皆のインサイドシュートなどでリズムをつかみ、10分には23-16と追い上げムードとなった。残り4分から飛幡④山本、④山下の3Pが連続3本決まると再び飛幡ペース。前半を40-27で終えた。要所で決まった3P5本が効いた前半だった。
 後半の滑り出しは五城目②宮城の3Pが続いて決まり、5分には50-39と追いつけた。飛幡は⑥立花の落ち着いたパスワーク、好リードから五城目に行きかけた流れを止め、10分には67-51とリードを広げた。残り5分は完全に飛幡ペース。速攻からのシュート、外角、3Pと次々に決めると点差は広がる一方となった。試合終了時には85-56と大差のゲームとなった。激しいマンツーマンからチャンスをつかみ、バランスよく得点を重ねた飛幡のゲームだった。特に④山下は3P3本を含む27得点をあげる活躍を見せた。

記録者 津田 陽一 (県バス)
 高橋 宏明 (県バス)

【トーナメント戦績】



第 31 回 全国中学校バスケットボール大会

～青い海 輝く 島根で君は神話になる～

【試合結果】

NO.74

男子 決勝トーナメント		(準々決勝)	
日時	平成13年 8月 19日 (日)	16:35～	
会場	松江工業高校体育館	Cコート	第6試合
結果	大砂土中	29-34	京北中
	59	30-29	63
	(埼玉)		(東京)
主審	平 育 雄	副審	福 岡 敏 徳

【個人トータル表】

大砂土中 (埼玉)						
番号	氏名	得点	3P	2P	F T	反則
4	山田 貴 康	18	2	6	0	3
5	川端 大 悟	10	2	2	0	2
6	佐藤 裕 裕	14	2	4	0	4
7	鶴巻 悦 郎	0	0	0	0	1
8	梅屋 拓 磨					
9	山崎 洋 忠	2	0	1	0	0
10	浅川 雅 彦					
11	小林 周 平					
12	石垣 徹 徹					
13	堀越 悠 資					
14	外山 嘉 教					
15	佐藤 基 一	15	0	7	1	4
16						
17						
18						
合 計		59	6	20	1	14

京北中 (東京)						
番号	氏名	得点	3P	2P	F T	反則
4	安並 卓 嗣	5	0	2	1	1
5	末廣 尚 希	19	0	7	5	1
6	村上 吾 郎	4	0	1	2	0
7	相沢 航 航	8	2	0	2	1
8	中江 勇 人					
9	門脇 颯 乙					
10	長谷川 達 也					
11	津田 貴 史					
12	小杉 益 朗					
13	金澤 慧 慧					
14	石橋 恋 乃 助					
15	水村 圭 佑					
16	小宮 純 季	13	2	3	1	0
17	榊 枝 昌 文	14	0	6	2	5
18	中島 翔 翔					
合 計		63	4	19	13	8

【戦評】

NO.74

前半の立ち上がり、大砂土中はマンツーマンDef、対する京北中は3-2ゾーンDefでスタート。開始早々、京北中は④安並、⑦榊枝のリバウンドシュートなどで7-0とリードする。しかし、大砂土中も、リバウンドからの速攻や、外角からのシュートですぐに同点に追い付く。その後、大砂土中は⑥ポストプレイを軸に、④山田がジャンプシュートを実際に決めるなどして加点し、両チーム一進一退の攻防を続ける。前半終了近く、オールコートのマンツーマンDefからボールを奪い、得点に結び付けた京北が、34-29の5点リードで前半を折り返した。後半も大砂土中は、マンツーマンDef、京北中は3-2ゾーンDefでスタート。大砂土中は、④山田の1対1からのシュートなどで、京北中も⑦榊枝のジャンプシュートなどで得点を重ねる。残り5分で京北中の3点リードと予断を許さない展開となる。残り1分半で、京北中⑦榊枝が5ファールで退場し、大砂土中のリズムとなるかと思われたが、京北中は全員で冷静にボールをコントロールし、結局、63-59の4点差で京北中が逃げ切り、準決勝に進出した。両チームとも、最後まであきらめずにボールを追い、気持ちの良いゲームであった。

記録者 田村 雅史 (県バス)

奥原 章公 (県バス)

【トーナメント戦績】

